

Career Up

あらゆる機会をとらえて実施される 看護師教育によって、 あなただけの“輝く”キャリアを形成します。

済生会吹田病院では、「急性期医療に対応した専門知識・技術に熟達し、看護実践能力に優れた看護師」、「専門職業人として自ら教育環境を活用し、自己成長できる看護師」を育てることを教育の目的に掲げています。

→ 教育目標

- 1 専門職として主体的に学習できる。
- 2 状況を的確に判断し、根拠に基づいたケアが実践できる。
- 3 医療チームの一員としてよい人間関係を保ち、自己の役割を果し、社会人としての自覚と責任を持ち主体的活動がとれる。
- 4 看護の質の向上を目指した研究的態度を持つことができる。

→ 看護教育の特徴

1 院外研修

さらに高いレベルを目指す院外研修。

臨床実践能力3段階以上の中堅看護師に対して、「済生会本部・近畿ブロック済生会主催の研修」、「大阪府看護協会が主催する研修・講演会」、「認定看護師・認定看護管理職・専門看護師コースの受講」、「専門学会への参加」などを積極的に支援します。



2 カウンセリング

悩みに応え、本人の適性を判断。

入職1年目の看護師には、約1ヵ月ごとに「カウンセリング」を実施します。これは、さまざまな悩みに応えながら、モチベーションを高めるために実施されるもの。「職場研修(さまざまな病棟体験)」の結果・感想を加味しながら、適材適所の人材配置にも結び付けています。



3 絆(きずな)研修

将来、互いを支えあう同期意識を芽生えさせる。

2日間の研修を通して、同期入職者の横のつながりをつくり、個々の関わりを深めます。

→ ワンコイン表彰でモチベーションアップ

看護部独自の表彰制度、「ワンコイン表彰」がスタート。看護師定着・支援対策を検討し、病院内外から評価を受け吹田病院のイメージアップに貢献したり、積極的に業務に取り組んでいる看護師や部署をタイムリーに表彰。看護師のモチベーションアップにもつながっています。



⇒ 研修体制

新採用者教育

1ヵ月の集合研修で、実技研修・病棟研修を実施。「プリセプターシップ制」を導入し、新人を受け入れるフロアではプリセプターが中心となって、フロア特性を盛り込んだ教育計画を立案。スタッフ全員が支援を行います。

必修研修

卒後3年目までを「ひとり立ち」期間と位置づけます。



● 基礎 I [卒後1年目]

- ・職場に適応し、看護師としての自覚と働く意欲を持てる。
- ・基本的知識・技術を身につけ、看護技術を安全に提供できる。

● 基礎 II [卒後2年目]

- ・アセスメント能力を高め、看護実践に活かすことができる。

● 基礎 III [卒後3年目]

- ・対象の理解を深め、質の高い看護を提供できる。

役割研修

感染対策・安全対策・褥瘡対策を担う委員、および臨地実習指導者、プリセプター、管理者を対象とする。

選択研修

自らのキャリア開発を積極的に行おうとする者に対して、その機会を与えることを目的とし、研修テーマは看護実践に役立つ情報を精選する。

上記をベースに「させられる研修」から「個々の自立性に委ねた研修」を目指します。



⇒ 臨床実践能力の段階別到達目標



5 STEP

医療チームメンバーの中で調整的役割を担い、看護師長を補佐することができる。
部署の業務に精通し、ケア管理においてメンバーに指導・支援できる。



4 STEP

部署において円滑な業務が遂行できるよう、役割を果たすことができる。
キャリア開発について方向性を持つことができる。



3 STEP

受持ち患者以外の看護計画に対しても積極的な関わりができる。
リーダーシップを発揮し、後輩や学生に指導的役割を担うことができる。

2 STEP

受持ち患者の個性を踏まえた問題解決ができ、適切な看護実践ができる。



1 STEP

基本的な知識・技術・態度を習得し、正確で安全な看護実践ができる。

